

横田基地内より市内処分場に搬入された土から銃弾が発見された件について（要請）

令和2年11月20日、米軍から北関東防衛局に対し、「2020年11月19日午後、横田基地から基地外の処分場に運ばれた土から、50口径（12.7mm）弾一発が発見された。」との連絡があり、防衛局において米軍に処分場の所在地を確認し、24日、「青梅市にある処分場であるとの回答があった。」との情報提供がありました。

本件の第一報は、11月20日に東京都および横田基地周辺自治体に提供されておりますが、本市には、搬入場所が確認された11月24日まで提供がされなかったことは誠に遺憾であります。

これまで、横田基地においては、6月のCV-22オスプレイの部品遺失事故から、7月の立川市へのパラシュート落下事故、福生市へのフィンの落下事故と、人命に関わる重大な事故が多発しております。

このたびの横田基地の工事の掘削作業で発生した土から未使用の銃弾が市内処分場にて発見されたことは、まさに住民の生活環境が脅かされる重大な事態であります。

今までも、事故原因や再発防止策の説明については、速やかに関係自治体へ説明を行うこと等を再三求めてきたにもかかわらず、これらに関する具体的な説明がないまま、こうした事態が発生したことは、これまで要請してきた経緯を踏みにじるもので、極めて遺憾であり強く抗議します。

貴職においてはこのような状況を十分認識され、再発防止と安全確保に抜本的な対策を講じるよう、次のとおり要請します。

#### 記

- 1 市内処分場に搬入された土から銃弾が発見された経緯、原因、他の危険物の混入の有無等について、至急調査のうえ、本市に直接、説明を行うこと。
- 2 横田基地内の銃弾等の管理を徹底するよう、米軍に厳に求めること。
- 3 上記を行うまでの間、処分場への搬入を行わないこと。

令和2年11月25日

北関東防衛局長 松田 尚久 殿

青梅市長 浜 中 啓 一